

# 外国人材育成における敬語教育の意義と その問題点

(『言語の研究』6号)  
2020年3月)

浅川 哲也

はじめに

平成20年(2008年)に、日本・インドネシア間の経済連携協定(EPA: Economic Partnership Agreement)に基づいて、インドネシア人の外国人看護師・介護福祉士候補者(以下、「外国人候補者」)の受入れが始まった。平成24年(2012年)までに、フィリピン・ベトナムとも経済連携協定が結ばれ、この制度による「外国人候補者」の累計受入れ人数は、3国併せて5,600人を超えたという<sup>(1)</sup>(平成30年8月末時点)。

平成30年(2018年)12月8日の第197回国会において、「出入国管理及び難民認定法及び法務省設置法の一部を改正する法律」が成立し、12月14日に「平成30年法律第102号」として公布された。この改正法は、在留資格「特定技能1号」「特定技能2号」の創設と、出入国在留管理庁の設置等を内容とするものである。

出入国在留管理庁の制度説明資料である「新たな外国人材の受入れ及び共生社会実現に向けた取組<sup>(2)</sup>」によれば、令和元年(2019年)6月末現在で、在留外国人の人数は282万9416人である。今後の外国人の在留資格が多様になるとともに、外国人が就労する業種も多様となる。今後5年間の日本における特定技能に係る受入れ人数は、上限として34万5150人であるという。

日本語教育は、新制度によって新たに来日する外国人の日本語学習の受け皿を用意しなければならない。日本語教育学は、日本語を母語としない言語話者を対象とする日本語の言語教育に関する研究領域である。

本稿は、外国人材育成という観点から、日本語母語話者、中国語を母語とする日本語学習者、韓国語を母語とする日本語学習者を対象としたアンケート結果などを通じて、日本語の敬語教育の意義と問題点について検討することを目的とする。

## 1. 外国人が日本語の敬語を学習する上での問題点

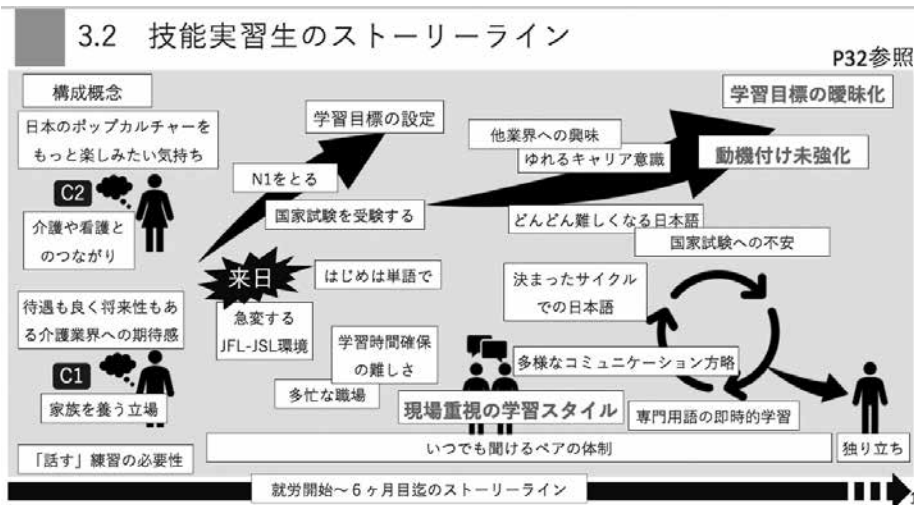
外国人が日本語の敬語を学習する上での問題点としてまず挙げられるのは、習得におけるその困難さである。

高野(2020)では、来日滞在している中国人技能実習生4名にインタビュー調査を行い、その調査結果に基づいて「技能実習生のストーリーライン」を作成している。ここに技能実習生の日

本学習における困難点のひとつの例をみる事ができる。

技能実習生は、来日後、現場での実習活動に携わりながら、専門分野での日本語学習と国家資格取得のための学習活動とを併行して行うという多忙な環境に置かれることになる。図中にある「どんどん難しくなる日本語」の中には、日本社会の雇用関係の中で要求される敬語使用の問題も含まれているものと考えられる。

「どんどん難しくなる日本語」は、「国家試験への不安」の原因になったり、「学習目標の曖昧化」の原因になったりするなど、キャリア形成を目指す技能実習生にとってマイナス要因となる可能性がある。



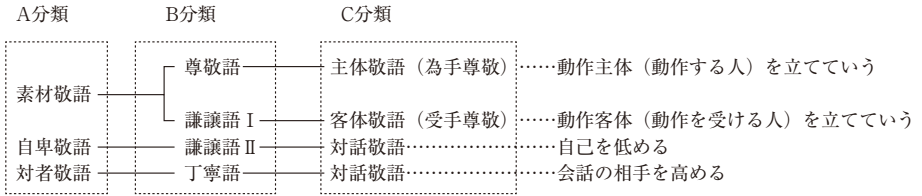
【図1 技能実習生のストーリーライン<sup>(3)</sup>】

## 2、現代日本語の敬語

日本語の敬語は、外国人学習者にとって習得することが困難であり、日本の社会生活の中で正しく運用することはさらに困難である。

『敬語の指針<sup>(4)</sup>』は、現在のところ、もっともスタンダードな日本語敬語のガイドラインであり、敬語五分類<sup>(5)</sup>によって記述されているが、その内容は専門的な敬語学説を元に記述されており、一般向けには難易度が高い。

筆者は、敬語の分類についての諸学説を【図2】のように構造的に整理し、敬語運用の基本的な考え方をこれによって説明している。



【図2 現代日本語の敬語の分類】

敬語体系を〈A分類〉：「素材敬語・自卑敬語・対者敬語」、〈B分類〉：「尊敬語・謙讓語Ⅰ・謙讓語Ⅱ・丁寧語」、〈C分類〉：「主体敬語・客体敬語・対話敬語」のように分類すると、次のように説明することができる。

〈A分類〉

- ・素材敬語とは、話題の中（会話の中、手紙の中など）に登場する人物を立てて（あるいは、その人物に敬意を向けて）いう敬語である（尊敬語・謙讓語Ⅰ）。
- ・自卑敬語とは、話し手が、目の前にいる会話の聞き手に対して、自分自身を低める敬語である（謙讓語Ⅱ）。
- ・対者敬語とは、話し手が、目の前にいる会話の聞き手を立てていう敬語である（丁寧語）。

〈B分類〉

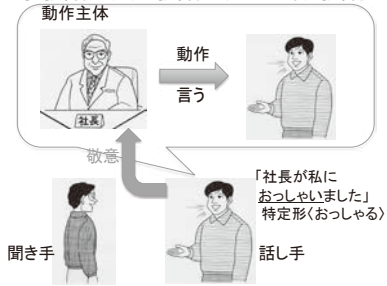
- ・尊敬語とは、ある動作をする人物を立てていう敬語である。尊敬語は主体敬語（動作主体敬語）ともいう。主体敬語とは、ある動作をする人物を対象にして敬意を表わす敬語である。
- ・謙讓語Ⅰとは、ある動作を受ける人物を立てていう敬語である。謙讓語Ⅰは客体敬語（動作客体敬語）ともいう。客体敬語とは、ある動作を受ける人物を対象にして敬意を表わす敬語である。

〈C分類〉

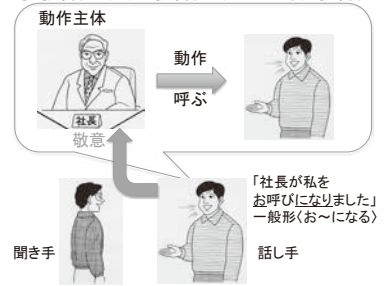
- ・主体敬語とは、何かの動作をする人を立てていう敬語で、尊敬語のことである。
  - ・客体敬語とは、何かの動作を受ける人を立てていう敬語で、謙讓語Ⅰのことである。
  - ・対話敬語とは、会話の相手を立てていう敬語で、自分を低めようとする謙讓語Ⅱとなり、相手を高めようとする丁寧語になる。
- これを、モデル図で説明したものが【図3～6】<sup>(6)</sup>である。

図中にある吹き出しの内部は、話題の中に出てくる人物たちであることを示す。動作の向かう方向と、敬意の向かう（「立てる」）方向を矢印で示している。

尊敬語(素材敬語・動作主体敬語)

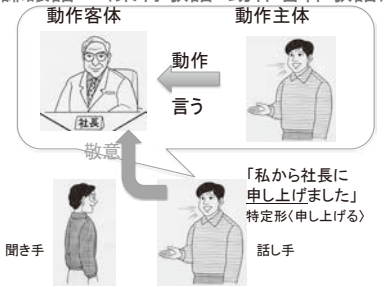


尊敬語(素材敬語・動作主体敬語)

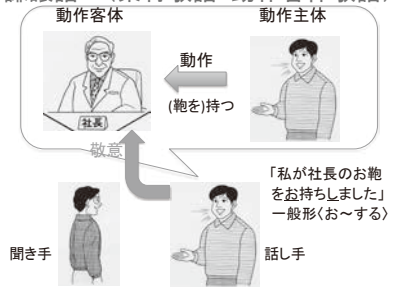


【図3 尊敬語】

謙讓語 I (素材敬語・動作客体敬語)

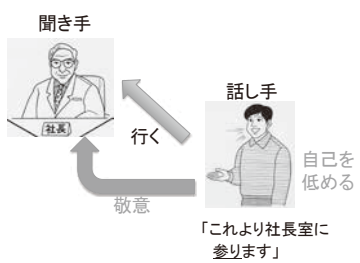


謙讓語 I (素材敬語・動作客体敬語)



【図4 謙讓語 I】

謙讓語 II (自卑敬語・対話敬語)



【図5 謙讓語 II】

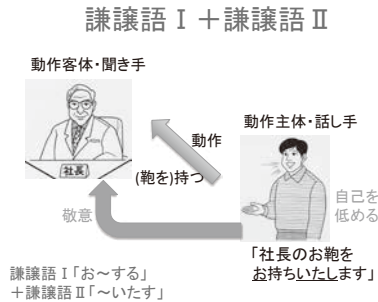
丁寧語(对者敬語・対話敬語)



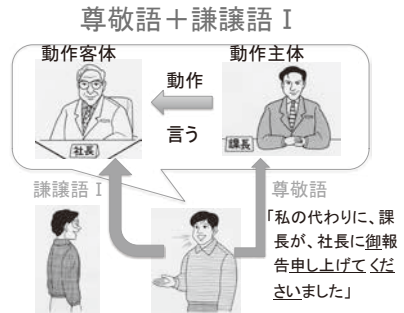
【図6 丁寧語】

謙讓語Ⅰと謙讓語Ⅱとは、異なる種類の敬語であるが、謙讓語Ⅰと謙讓語Ⅱとが同時に使われる敬語として、「お／ご～いたす」がある（【図7】）。

また、尊敬語と謙讓語Ⅰとが同時に使われる「申し上げて下さる」という場合もある（【図8】）。



【図7 謙讓語Ⅰ + Ⅱ】



【図8 尊敬語 + 謙讓語Ⅰ】

### 3. 敬語についての意識調査（アンケート）

日本語母語話者と日本語学習者とが日本語の敬語についてどのような意識をもっているかをはかるため、日本語の敬語についての意識調査を日本・中国・韓国の大学生を対象として、以下の<sup>(7)</sup>ように実施した。

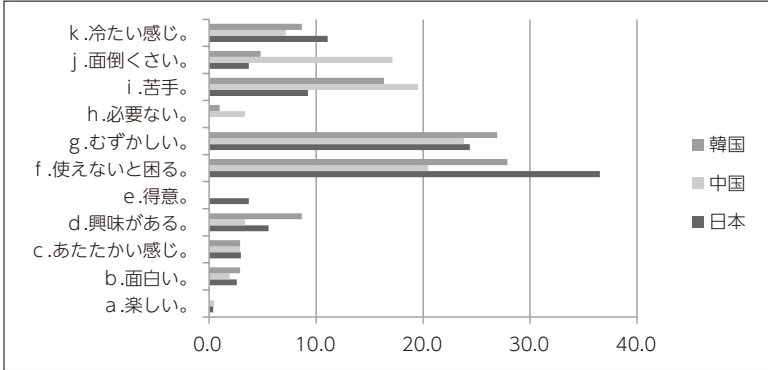
日本：日本国内の4年制大学に在学する日本語母語話者の大学生1年（102名）・2年（4名）・3年（13名）・4年（3名）計122名（男性46名、女性76名）。2019年7月11日に実施。

中国：中国国内の4年制大学に在籍する中国語を母語とする日本語学習者、3年（33名）・4年（29名）計62名（男性13名、女性49名）。「日語專業4級」（JLPTの2級程度）の有資格者。2019年10月16日～17日に実施。

韓国：韓国国内の4年制大学に在籍する韓国語を母語とする日本語学習者計40名（男性17名、女性21名、不明2名）。2019年10月20日～11月22日の間に実施。

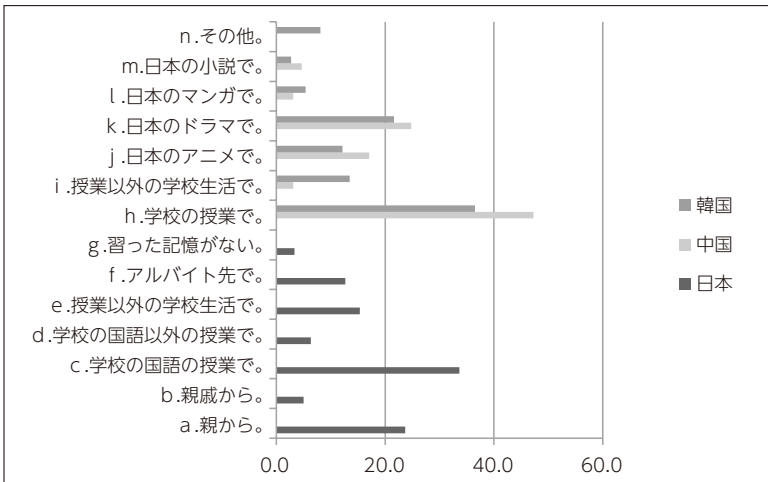
アンケート結果は、質問項目ごとに日本・中国・韓国それぞれの内部で百分率をはかり、それを国ごとに比較した。

(1) あなたは敬語についてどんな印象をもっていますか？（複数選択可）



日本・韓国に共通して、敬語について「使えないと困る」とする回答が最も多い。それに対して、中国の「使えないと困る」という回答は日韓に比べてあまり高くない。中国の回答は「面倒くさい」が日本・韓国と比較して目立つ。日本語・韓国語ともそれぞれの母語において敬語の運用が発達しているのに対して、中国語は相対的に敬語の少ないことが原因であると考えられる。また、日本・中国・韓国に共通するのは、敬語に対する「むずかしい」「苦手」とする意識である。

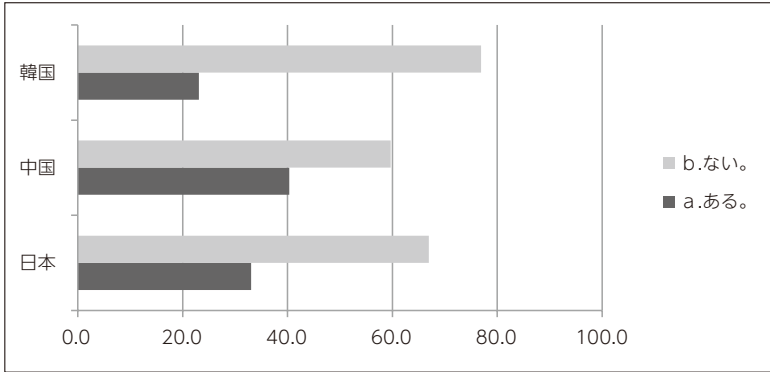
(2) あなたは敬語をどこで習いましたか？（複数選択可）



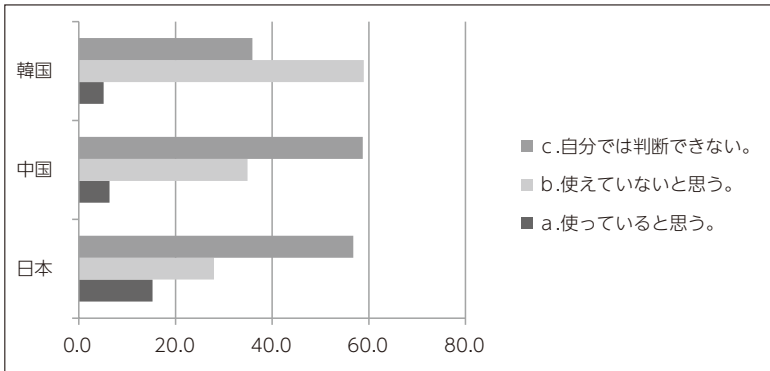
予想される結果ではあるが、日本と、中国・韓国とでは明らかな相違があった。日本語の敬語を学ぶ場面として、中国・韓国は「学校の授業」とする回答が多いが、これは第二言語の習得場面なので当然の結果といえる。また、中国・韓国に「日本のドラマ」とする回答が目立つ。日本

のマンガには敬語表現が現れにくいことが考えられ、日本語の敬語に接する機会としては、日本のドラマの視聴時が機会として多いということであろうか。日本では敬語を学ぶ場面として、「学校の国語の授業」が最も多く、「親・親戚」がこれに次ぐ。日本語母語話者の敬語習得において、学校教育と家庭教育の占める役割は大きいものといえる。見方を変えると、家庭教育と学校教育のいずれか、または両方で敬語教育を受ける機会を失うと、母語話者でも敬語の習得が困難になるものと予想される。

(3) あなたが敬語を使ったとき、他の人から敬語の間違いを指摘された経験がありますか？

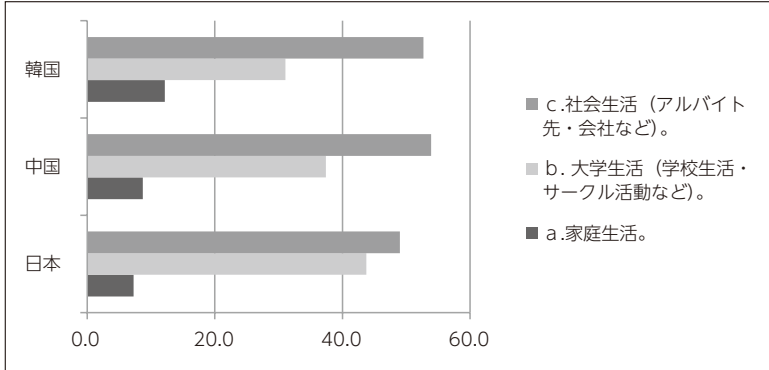


(4) あなたは自分が正しい敬語を使っていると思いますか？



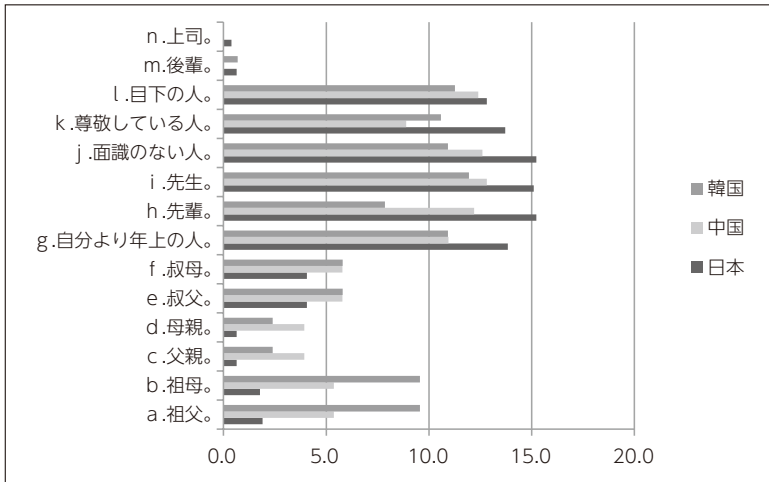
(3) (4) のアンケート結果によると、日本・中国・韓国いずれにおいても、話し手に敬語の使用に誤りがあったとしても、相手からその誤りについて指摘を受けるという機会は少なく、また、話し手の方は自分が敬語を正しく使用しているかどうか自信がないという傾向にあることがわかる。

(5) 敬語はどのような場面で必要だと思いますか？次の中から選んで下さい（複数選択可）。



日本・中国・韓国とも、「家庭生活」は敬語を使用する場面としては考えられていない傾向がある。相対敬語と言われる日本語と異なり、絶対敬語を使用するといわれる韓国においても、家庭で敬語を使用するという回答は中国・日本に比較すればやや多いものの、全体から見れば高いとはいえない。日本・中国・韓国いずれにおいても敬語を必要とすると考える場面は「社会生活」と「学校生活」である。

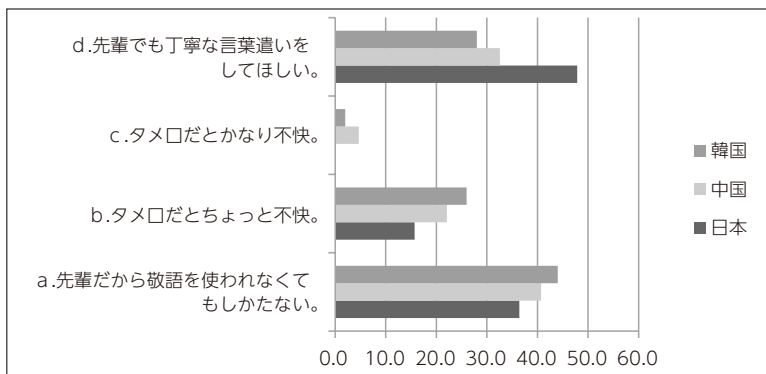
(6) あなたはどのような人に対して敬語を使うべきだと思いますか？（複数選択可）



祖父母を敬語使用の対象とするという意見は韓国で目立つ。日本・中国・韓国いずれにおいても社会的な関係における目上の人が敬語の対象となる傾向が明確に現れている。

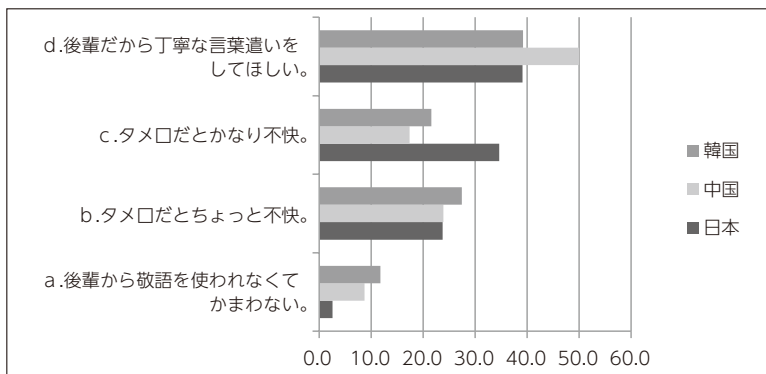


(7) あなたのアルバイト先に日本人が働いています。その日本人はあなたにとってアルバイト先での先輩です。その日本人があなたに対して、「○○さんさー、ペットボトルを売り場に置けよ」と言ってきました。あなたはどのように感じますか？



「先輩だから敬語を使われなくてもしかなかった」とする回答が、日本・中国・韓国いずれにおいても優勢である。しかし、その一方で「先輩でも丁寧な言葉遣いをしてほしい」という意見も、日本・中国・韓国いずれにおいてもみられ、敬語の使用以前に、会話の相手に対するぞんざいな言い方を忌避する傾向がみられる。

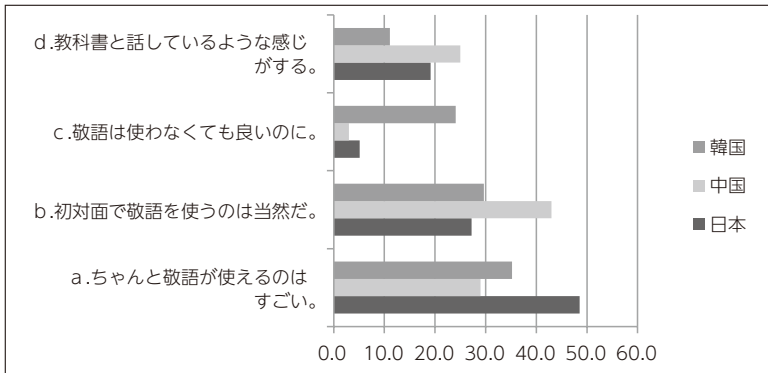
(8) あなたのアルバイト先に日本人が働いています。その日本人はあなたにとってアルバイト先での後輩です。その日本人があなたに対して、「○○さんさー、ペットボトルを売り場に置けよ」と言ってきました。あなたはどのように感じますか？



日本・中国・韓国いずれにおいても、後輩に対しては「丁寧な言葉遣い」の使用を期待していることがわかる。いわゆる「タメ口」を後輩が使用することは日本・中国・韓国いずれにおいても不快感を感じるが、特に日本語母語話者においては、後輩に「タメ口」を使用されることに強

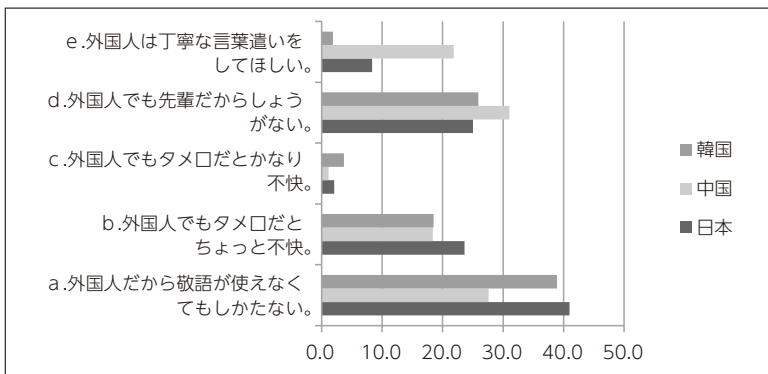
い不快感を感じるということがわかる。

(9) あなたのアルバイト先に新しく日本人のアルバイトが入ってきました。その日本人が初対面のあなたに対して「わたくしは〇〇と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。」と言ってきました。あなたはどのように感じますか？



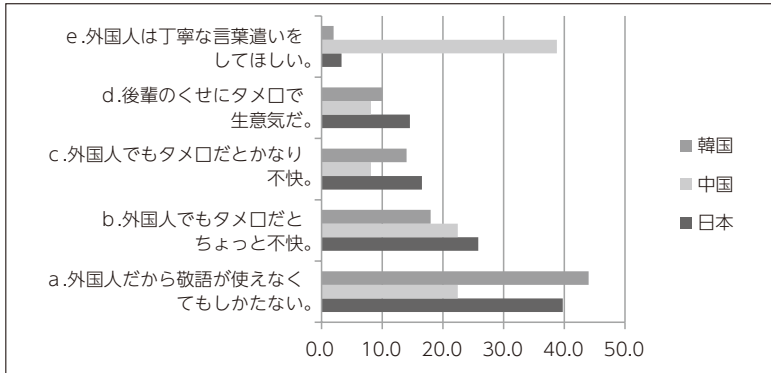
日本・中国・韓国いずれにおいても、初対面の日本人が敬語を使用するのは当然だとする意識がみられる。また、日本語母語話者において、「ちゃんと敬語が使えるのはすごい」という回答が多いのは、回答者の日常生活で敬語を正しく使用しているという自信に欠けているためと考えられる。

(10) あなたのアルバイト先に外国人が働いています。その外国人はあなたにとってアルバイト先での先輩です。その外国人があなたに対して、「〇〇さんさー、ペットボトルを売り場に置けよ」と言ってきました。あなたはどのように感じますか？



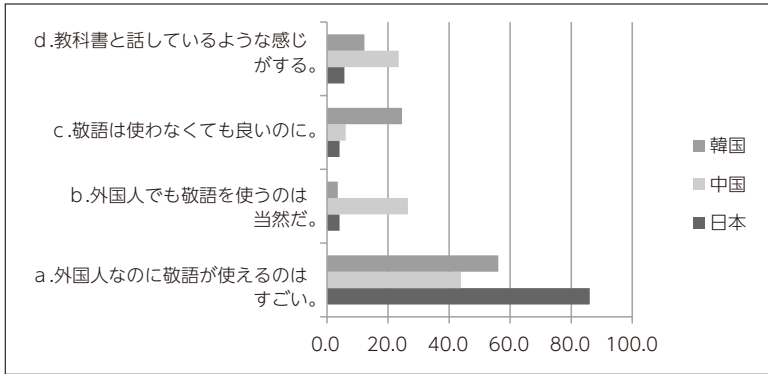
「外国人でも先輩だからしょうがない」という回答は、「先輩」という属性が相手が外国人であっても通用するというを示している。また、「外国人だから敬語が使えなくてもしかたがない」という回答数も多く、相手が外国人であれば敬語不使用に対する許容度が上がることがわかる。

(11) あなたのアルバイト先に外国人が働いています。その外国人はあなたにとってアルバイト先での後輩です。その外国人があなたに対して、「○○さんさー、ペットボトルを売り場に置けよ」と言ってきました。あなたはどのように感じますか？ 次の中から選んで下さい（複数選択可）。



中国語母語話者においては、外国人が丁寧な言葉遣いをするに厳しい要求基準を有しているようである。それに比較すると、日本語母語話者と韓国語母語話者は「外国人の後輩」が「タメ口」を使用することの許容度が高い。しかし、外国人であっても後輩が「タメ口」を使用することに不快感を感じずる回答者は日本・中国・韓国いずれにおいても一定数おり、特に先輩と後輩という関係においては待遇表現や言葉遣いに敏感になる傾向がみられる。

(12) あなたのアルバイト先に新しく外国人のアルバイトが入ってきました。その外国人が初対面のあなたに対して「わたくしは〇〇と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます」と言ってきました。あなたはどのように感じますか？ 次の中から選んで下さい（複数選択可）。



「外国人なのに敬語が使えるのはすごい」という回答が日本語母語話者において多くみられるのは、日本語母語話者において「外国人だから日本語の敬語はうまく使えないだろう」という判断がはたらいっていることと、日本語母語話者自身が日本語の敬語を正しく運用することへの自信が欠如していることの二つの側面を示しているものと思われる。

おわりに

アンケート結果からは、以下の点を分析することができる。

規範的な敬語は教育によって習得するものである。その教育は、家庭教育・学校教育・社会教育の三つである。今回の意識調査では、日本語母語話者は学校教育で敬語を学習したという回答数が家庭教育を上回っており、敬語教育における学校教育の責任が明確となった。

日本語母語話者は、先輩が自分に対して敬語を使用しないことを許容するが、同時に丁寧な言葉遣いをされることを期待している。また、後輩による自分に対する敬語不使用を許容しないという明らかな傾向がある。

会話の相手が外国人である場合、外国人の敬語不使用への日本語母語話者の許容度はかなり高くなるが、外国人であっても先輩・後輩の上下関係はその許容度に影響を与える。

若い世代の日本語母語話者は、自分自身の敬語運用に自信がなく、また、自分が敬語を正しく使用しているかどうか不安を感じている。従って、会話場面で規範的な敬語運用に接すると、会話の相手に対して高い評価意識が生ずる。その相手が外国人であった場合、その評価は特に高いものとなる。

外国人は、若い世代の日本語母語話者に接触してその日本語を自然習得したとしても、日本語の規範的な敬語運用を習得できる可能性は低いものと考えられる。

日本語母語話者でさえ、正しく敬語を運用することは難しく、かなりの教養を必要とする。外国人が規範的な敬語を学ぶためには、学校教育に拠るしかなく、外国人が敬語を習得する上で、日本語教育が果たすべき役割は極めて大きいものといえることができる。

【注】

- (1) 厚生労働省「インドネシア、フィリピン及びベトナムからの外国人看護師・介護福祉士候補者の受入れについて」[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyou/gaikokujin/other22/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/gaikokujin/other22/index.html)
- (2) <http://www.moj.go.jp/content/001293198.pdf>
- (3) 高野駿 (2020)「介護分野の中国人技能実習生の受入れ現場の現状と日本語教育支援の可能性—縦断的インタビュー調査から—」(首都大学東京大学院 修士論文)より引用した。
- (4) 文化庁・文化審議会答申『敬語の指針』平成19年(2007年)
- (5) 『敬語の指針』による敬語五分類の具体例は次のとおりである。
  - (1) 尊敬語「いらっしゃる・おっしゃる」型…いらっしゃる、おっしゃる、なさる、召し上がる、下さる、見える、お使いになる、ご利用になる、読まれる、始められる、利用なさる、ご利用なさる、ご利用だ、お読みくださる、お導き、ご出席、(立てるべき人物からの)ご説明、お名前、ご住所、(立てるべき人物からの)お手紙、お忙しい、お忙しくていらっしゃる、ご立派、ご立派でいらっしゃる
  - (2) 謙譲語Ⅰ「何う・申し上げる」型…何う、申し上げる、差し上げる、頂く、お目に掛かる、お目に掛ける、拝見する、拝借する、ご覧に入れる、お届けする、ご案内申し上げます、読んでいただく、ご指導いただく、(立てるべき人物への)お手紙・ご説明
  - (3) 謙譲語Ⅱ(丁重語)「参る・申す」型…参る、申す、いたす、おる、存じる、拙著、小社
  - (4) 丁寧語「です・ます」型…です、ます、でございます
  - (5) 美化語「お酒・お料理」型…お酒、お料理、お米、お水
- (6) 図中のイラストは『みんなの日本語初級Ⅰ 携帯用絵教材』(2000年、スリーエーネットワーク)・『みんなの日本語初級Ⅱ 携帯用絵教材』(2002年、スリーエーネットワーク)から引用した。
- (7) 日本国外のアンケート調査は、李讓珍氏・馬雲氏の御協力をいただいた。記して感謝申し上げます。

(あさかわ・てつや 首都大学東京)